

INTERVIEW

専門分野を活かして働く職員【化学編】



専門分野に進んだきっかけは何ですか？

小学生の時に東日本大震災を経験し、将来は災害などから人の命を守る仕事に携わりたいと漠然と思っていました。加えて、大学では化学を専攻し、そこで得た知識も活かしたいと思っていたところ、消防業務の中にも理系の知識を必要とする分野があることを知りました。人命を守るという使命と、専門性を活かせる環境に魅力を感じ、専門職として入局することを決めました。



現在の仕事内容

所属：予防部保安課
火薬・ガス保安係

現在、高圧ガスによる災害の防止を目的とした保安業務に従事しています。

具体的には、高圧ガスを取り扱う事業者に対して、保安検査や立入検査を実施し、許可申請や届出の内容について審査を行っています。

高圧ガスは、製造・貯蔵・消費・輸送の各過程において常に爆発や火災の危険性を伴っており、災害が発生すると、その被害は広範囲かつ甚大なものとなります。そのため、日々の業務を通じて、災害の発生や拡大防止に努めています。

専門知識を活かして働く中で、特に印象に残っている業務や出場はありますか？

入局2年目から、特殊災害対応隊としてBC(災害(放射線・生物・化学災害))に対応する業務に従事していました。BC(災害の実災害や訓練では、専用の資機材を活用しながら原因物質の特定や濃度の測定を行うほか、災害の終息に向けた除染や環境改善活動を行うことが多くありました。そうした活動の中で、自らの知識が現場や訓練で直接役立つことに大きなやりがいを感じたことが印象深い経験です。

専門知識や技術を活かして、どのような貢献ができていますと感じますか？

化学の知識は、BCなど災害対応活動や予防業務、火災調査業務など、さまざまな消防業務で活かすことができると思っています。実際に、特殊災害対応隊として勤務していた際には、化学の知識を部隊内で共有することで、部隊全体の専門性を高めることができました。また、危険物や高圧ガスなど、化学的知識が求められる予防分野においても、これまでの知識と経験を活かし、社会の安全・安心の確保に貢献できると思います。



専門知識を活かして働くうえで、求められる資質やスキルは何だと思っていますか？

専門知識を現場で活かすだけでなく、周囲にわかりやすく伝えていく力も求められると思います。また、専門職に限らずですが、市民の安全・安心に貢献したいという思いが何よりも大切だと感じています。

職場の雰囲気やチームの特徴について教えてください

理系出身の方は、消防の職場雰囲気になじみがなく入りづらさを感じることもあるかと思いますが、実際に働いてみると親切で思いやりがある方が多く、組織やチームで一体感がありとても働きやすい職場雰囲気だと思っています。

日々の学びやスキルアップのために取り組んでいることはありますか？

現在は、高圧ガスの保安業務に従事しているため、高圧ガス業務に関する研修を積極的に受講したりしています。また、高圧ガス製造保安責任者などの資格の取得に挑戦しようと思っています。

プライベートとの両立について

プライベートでは、休日によくサウナに行っています。とこのように、仕事に少し前向きな気持ちをつくるきっかけにもなっています。また、同期とも行くことがあります。非常に有意義な時間を過ごしています。



消防職員としての経験や知識をさらに広げ、深めていくために、将来的には他機関への出向を経験したいと考えています。また、これまでの経験を活かし、後輩職員の育成にも積極的に取り組み、共に市民の安全・安心に貢献していきたいです。

今後の目標や挑戦したいことは何ですか？



MESSAGE

専門性を活かしたキャリアを目指す方へのメッセージ



理系ならではの視点や知識を活かして、人の命と社会の安全を守る仕事に取り組むことができます。ここですでに経験や専門性を活かして人の役に立てるやりがい大きく、自分自身の成長にもつながっています。

理系の進路は多様ですが、その一つに「消防」という選択肢があることを、視野に入れてほしいと思います。

理系の知識を活かして、社会に貢献したいという思いを持つ方には、挑戦する価値のある仕事だと思います。是非、一歩を踏み出して挑戦してみてください。